

大内中学校通信 紺碧

真岡市立大内中学校 TEL 0285-82-2541
〒321-4405 真岡市飯貝1159
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchjhsc>



大内中シンボル・
キャラクター
「モーウチモカ」

- 学校教育目標
- 1 意欲をもって学習する生徒
 - 2 豊かな心情をもつ生徒
 - 3 健康で実践力に富む生徒
 - 4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校
令和7年度 第5号
令和7年9月発行

校長室から

防災の日と防災教育

9月に入てもまだまだ残暑が厳しい日が続いているが、朝夕は少し涼しくなり、秋の訪れを感じる季節となりました。

さて、9月1日は「防災の日」です。防災の日とは、「台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するため」として、1960年に内閣の閣議了解により制定された啓発日です。9月1日の日付は、1923年（大正12年）に発生した「関東大震災」に由来しています。御存知のように、関東大震災では、相模湾一帯を震源とするマグニチュード7.9の巨大地震により、死者・行方不明者は約10万5千人、建物の全半壊・焼失は約37万棟と関東一円に大災害がもたらされました。特に、日本海側にあった台風の影響で強風が吹き、東京や横浜で市街地が大火災となりました。

毎年、防災の日には全国各地で様々な訓練や催しが行われていますが、今年の政府の総合防災訓練は、1日に和歌山県の沖合でマグニチュード9.1の南海トラフとの巨大地震が発生し、西日本と東日本の広い範囲で、震度7や6強の激しい揺れとなり太平洋側を中心に、大津波警報が発表されたという想定で行われました。実際、この想定にある「南海トラフ巨大地震」は、政府の地震調査委員会が今後30年以内に80%の確率で起きると予測しているマグニチュード8から9程度の大地震です。仮に、和歌山県の沖合でマグニチュード9.1の大地震が起きた場合、震度6弱以上が神奈川県から鹿児島県にかけての24都県600市町村で、震度7が静岡県から宮崎県にかけての10県149市町村で想定されています。津波は、3メートル以上が福島県から沖縄県にかけての25都府県、10メートル以上が関東から九州にかけての13都県、高知県と静岡県では、局的に30メートルを超えるおそれがあるとされています。死者は最悪、全国でおよそ29万8千人。そのうち21万3千人は津波で、7万3千人は建物の倒壊によって死亡するとされています。

ところが、防災の日のこのような取組を知っても、差し迫った危機感を抱けない場合があります。それは、きっと30年以内に80%の確率でと言わざるも、現実味がないからだと思います。しかし、日本がプレートの境目に位置している以上は、ひずみのエネルギーがたまれば、いつかは必ず巨大地震が起きます。現に、2011年（平成23年）3月11日に発生した日本観測史上最大のマグニチュード9.0の超巨大地震により、岩手・宮城・福島の東北3県を中心に東日本一帯に未曾有の災害をもたらした「東日本大震災」が引き起こされました。また、2024年1月1日には、マグニチュード7.6、最大震度7の令和6年能登半島地震が発生し、多くの家屋の倒壊、津波による浸水等がありました。想定は、いずれ現実のものとなる可能性が高いのです。

このような中、国や県も防災教育の一層の推進を図っており、「『生きる力』を育む防災教育の展開」（文部科学省 平成25年3月）、「学校における防災関係指導資料」（栃木県教育委員会 平成25年9月）などが相次いで発出されました。本校でも、毎年、地震や火災を想定した避難訓練を行い災害に備えていますが、東日本大震災では、「釜石の奇跡」と呼ばれるように、釜石市の3千人近い小中学生のほぼ全員が無事に避難しています。これは、震災の8年ほど前から災害のときにいかにして生き抜くかを、群馬大学（当時）の片田敏孝教授とともに、児童生徒はもとより、教職員、釜石市教育委員会が一体となって考え方組んできた成果です。特に、釜石市立釜石東中学校は、海からわずか500m足らずの近距離に位置しているにもかかわらず、地震発生直後から迅速に避難行動を開始し、全員無事に高台に避難しました。その際、自らはもちろんのこと幼児や小学生、高齢者たちを助けながら避難した生徒も多くいたそうです。片山教授は避難の3原則として、「想定にとらわれないこと」、「最善を尽くすこと」、「率先避難者になること」を挙げています。

学校教育において、児童生徒の命を守り安全を確保することは何よりも重要なことです。防災教育について、まずは教職員が危機感を持って真剣に取り組み、生徒一人一人に災害を生き抜く「的確な判断」と「迅速な行動」を確実に身に付けさせたいと考えています。

【いじめ防止サミット 7/9(水)】

校紀委員会が作成したいじめ動画を見て、ロールプレイング（役割演示）を通していじめの防止について考えました。またいじめ防止宣言もクラスごとに考えました。



【総体各種県大会 7/19(土)～23(水)】

★陸上競技

女子2年800m5位 日下田心那 さん
女子2年200m6位 手塚千結 さん

★剣道

女子個人 畠中佐奈 さん 2回戦敗退
男子団体 1回戦敗退

★野球 1回戦敗退

★バレーボール 1回戦敗退
御声援ありがとうございました。



【県吹奏楽コンクール 7/29(火)】

結果は金賞でした。代表選考会には進めませんでしたが、生徒達は最高の演奏をすることができました。



【真岡市子ども議会 8/8(金)】

西田鉄平さん、佐藤遙乃さんが参加し、堂々と質問をすることができました。他校の生徒や中村市長と交流しました。



【栃木県少年の主張発表芳賀地区大会 8/21(木)】

本校からは3年の齋藤菜緒さんが参加しました。標題は「人とつながる大切さ」で、自分が病気と向き合う中で気付いたことを発表しました。とても堂々と立派な態度で発表できました。結果は優秀賞で県大会には進めませんでしたが、これまでで最高の発表でした。



【2学期始業式 9/1(月)】

2学期が始まりました。校長先生からは一分間だけスタート作戦（何事もすぐに一分間だけやってみること）というお話をいただきました。3年阿久津蓮斗さん、2年篠崎架音さん1年手塚玲奈さんが、それぞれの2学期の抱負を力強く発表しました。



【薬物乱用防止教室 9/8(月)】

栃木DARC（ダルク）3rd Stage Center施設長の大吉 努 様に「薬物乱用と依存症について～「ダメ、絶対」だけではダメな理由～」と題してお話ををしていただきました。御自分の経験談などを聞き、生徒は衝撃を受けながらも最後まで集中して聞いていました。絶対に薬物に関わらないようにしてほしいと思います。



※学校のホームページも御覧ください。よろしければ△（いいね）ボタンを押してください。

